

2 在宅医療従事者の負担軽減の支援

○背景・目的

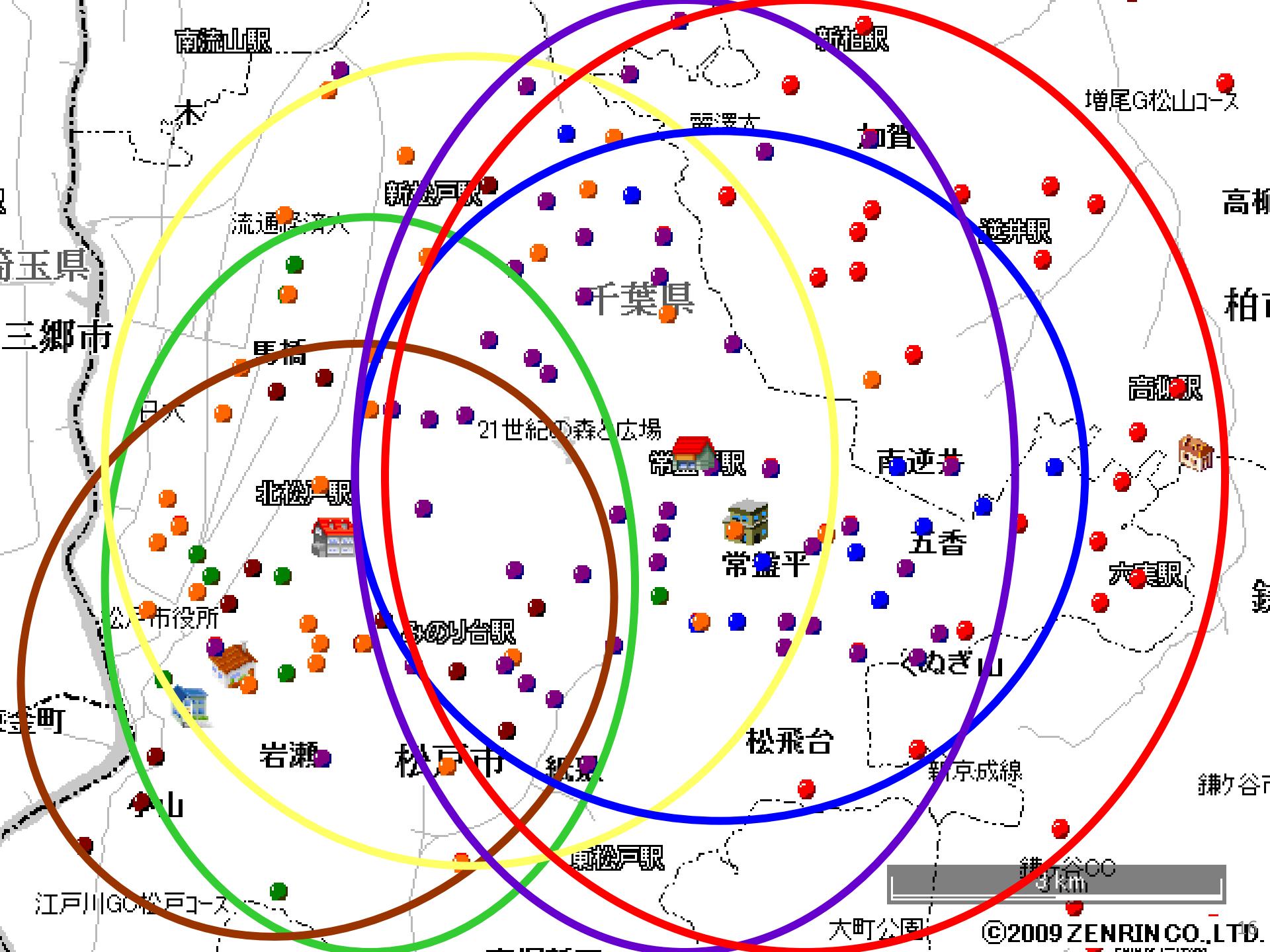
チーム医療の提供及び24時間対応体制の構築が在宅医療における課題とされている一方、それらに負担を感じている在宅医療従事者も少なくない。その理由として、各職種が異なる機関に所属していること、常勤医師が一名の診療所や小規模訪問看護ステーションが多いこと等が挙げられている。

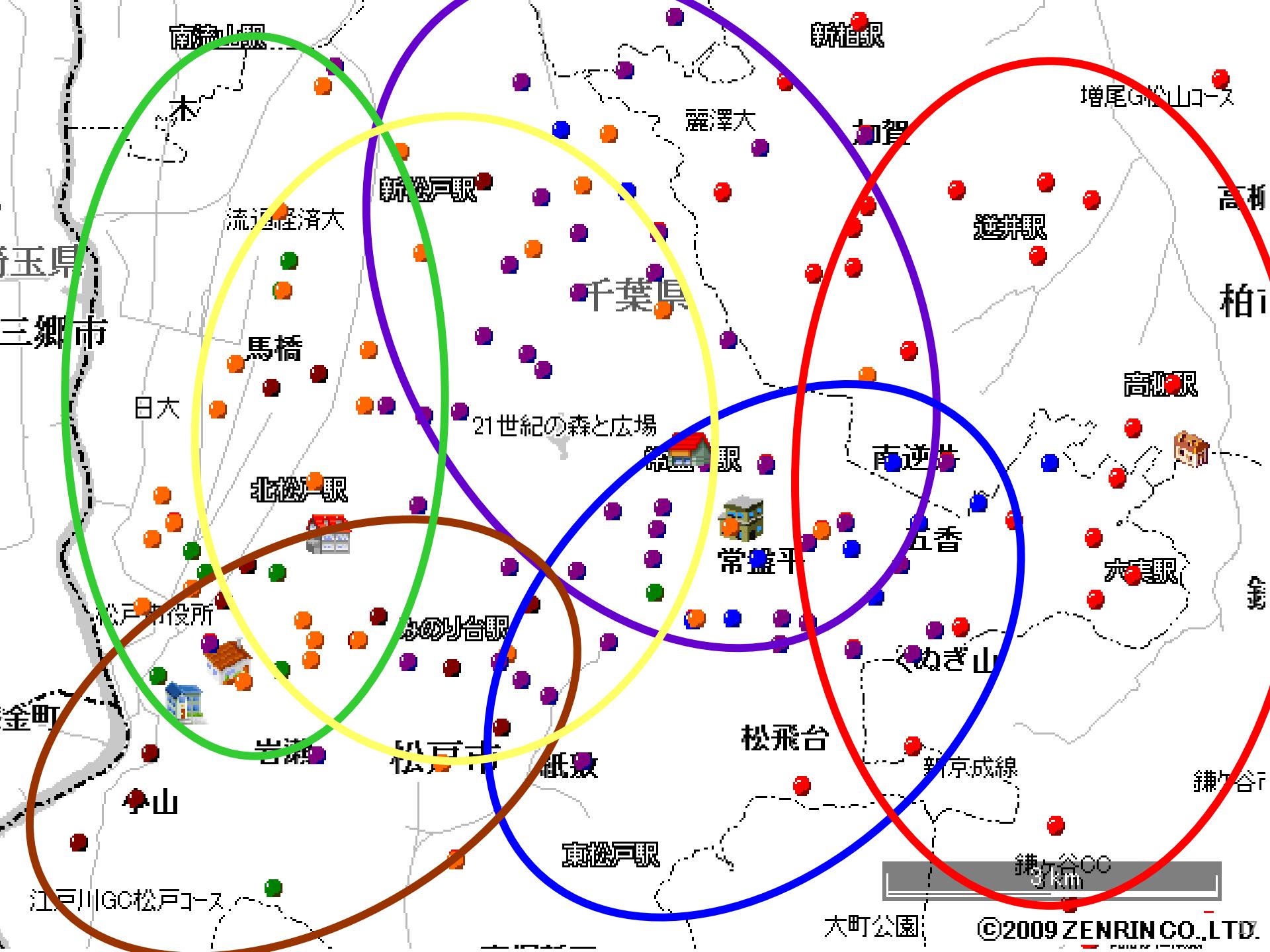
○内容

- 連携拠点は、地域の医療・福祉資源を把握し、地域の医療従事者から抽出された課題等も踏まえて、地域の在宅医療をより効率的に提供するため以下の方策を実施する。

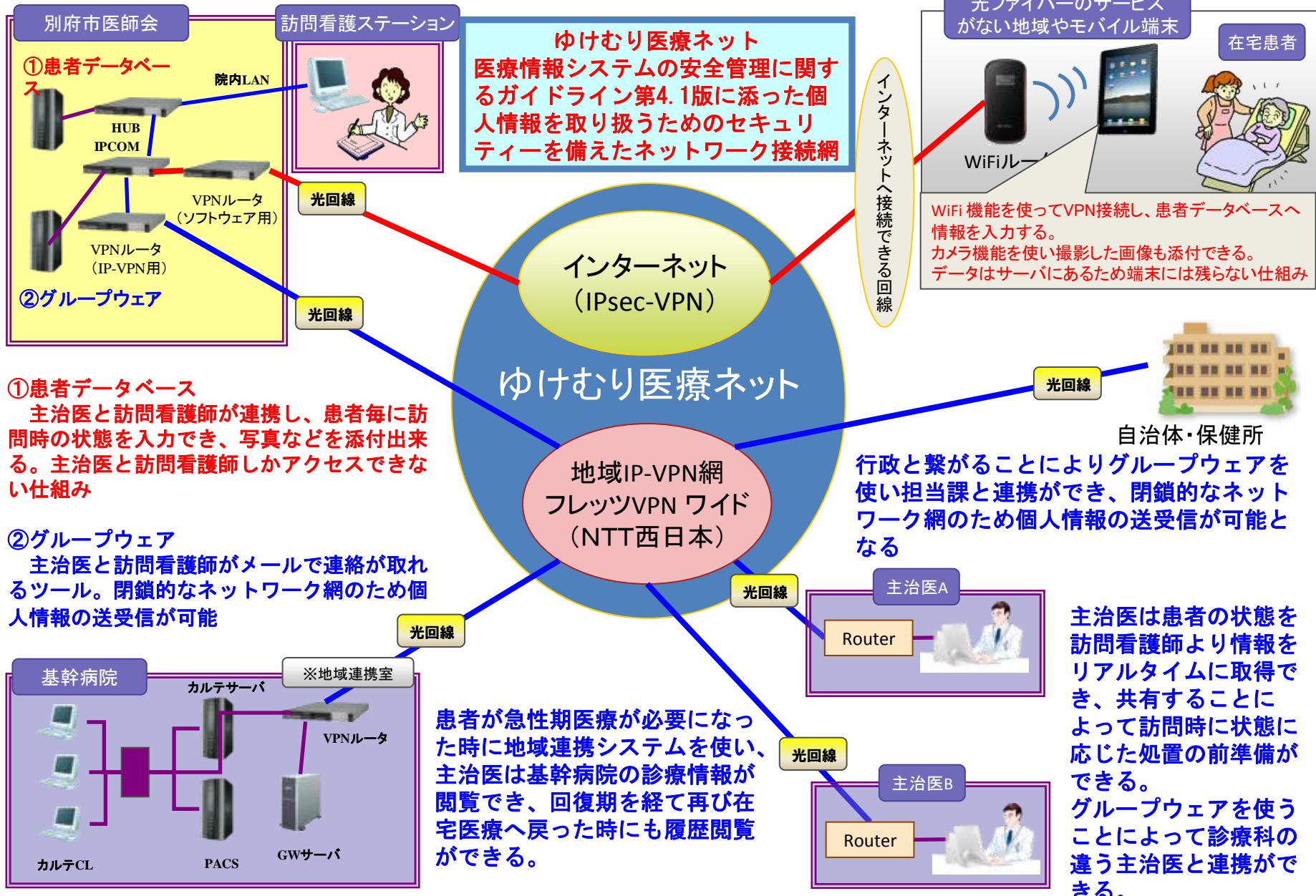
※なお、病院・診療所については、自らも在宅医療を提供し、かつ外の医療機関(特に一人の医師が開業している診療所)が必ずしも対応しきれない医師不在時や夜間の診療を支援すること。

- * 24時間対応の在宅医療提供体制の構築
- * チーム医療を提供するための情報共有システムの整備





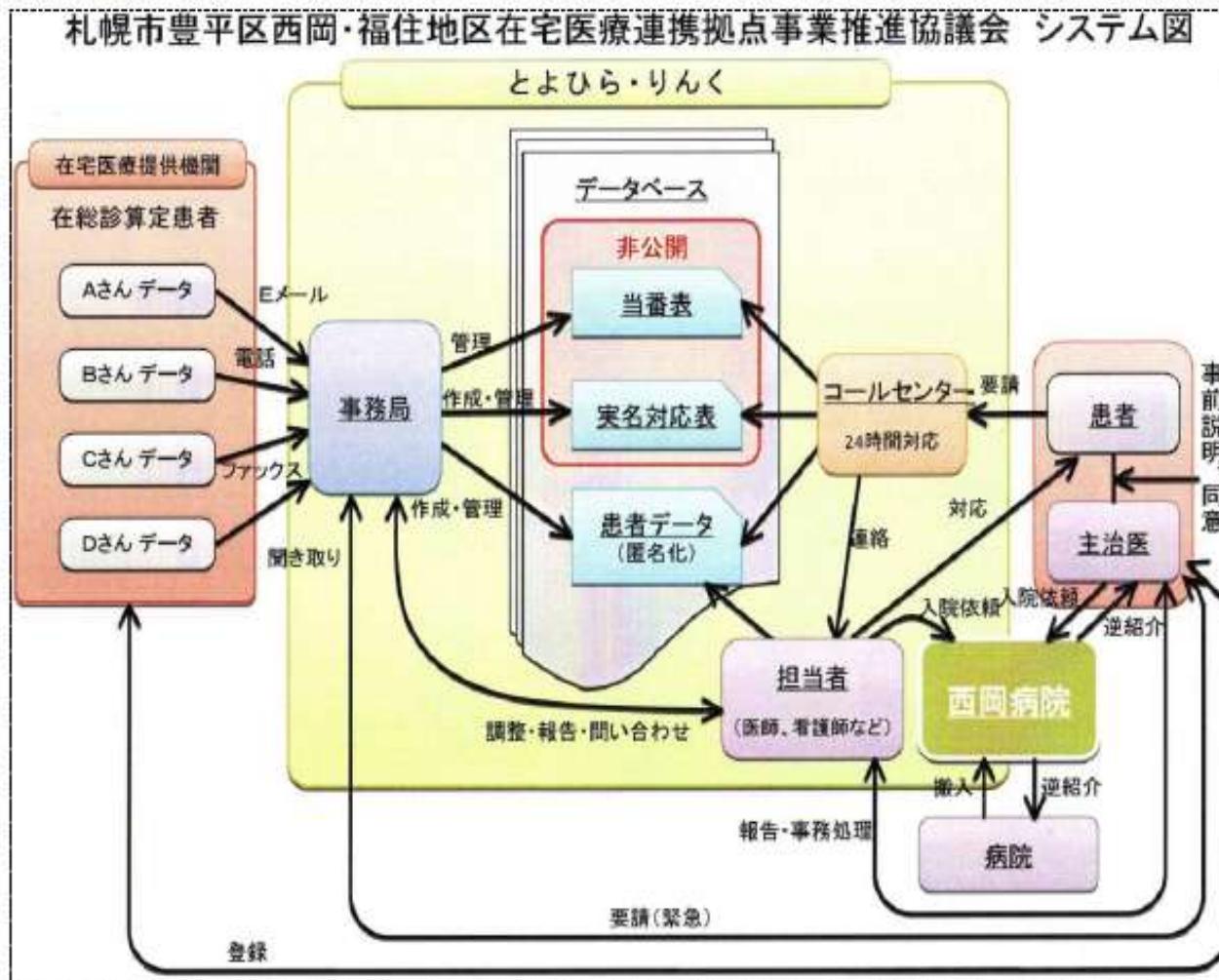
ゆけむり医療ネットを使った在宅医療連携ネットワーク図



システム構築が進み、運用へ

~24時間のネットワーク化を図る

五十嵐副会長から、チーム医療を提供するための情報共有体制のための連携システム（下図）の構築が進み、実際に患者様への説明、登録、そして運用へ展開していると報告がありました。



大野市

在宅医療は多職種のチームワーク



チャット(Chat)を利用した共通診療録

- チャット・サーバーを大学病院地域連携サーバーに設置する
- 診録すれば、個人のパソコンでも、携帯でも閲覧が可能

大学病院のサーバーを利用

- 大学病院と同等のセキュリティを確立
- 新たな回線導入は不要→現在使用されているパソコン、携帯電話で可能

3 効率的な医療提供のための多職種連携

○背景・目的

国民が住み慣れた地域で生活することを支えていくためには、医療・福祉・保健にまたがる様々な支援を包括的かつ継続的に提供していく体制が必要であり、限られたこれらの資源を効率よく活用する仕組みが求められている。

○内容

- 連携拠点に配置された介護支援専門員の資格を持つ看護師等と医療ソーシャルワーカーは、地域の医療・福祉・保健資源の機能等を把握し、地域包括支援センター等と連携しながら、医療・福祉・保健にまたがる様々な支援を包括的かつ継続的に提供するよう関係機関に働きかけを行う。連携拠点の介護支援専門員の資格を持つ看護師等と医療ソーシャルワーカーは以下の活動を行う。

* 他機関の支援

- 地域包括支援センターに対して、医療的な助言や支援を行う。
- 地域包括支援センターと連携して居宅介護支援事業所等に医療的な助言や支援を行う。
- 地域の医療機関に出向き、退院・調整の支援を行う。
- 地域の福祉機関等において、医療的な助言や支援を行う。
- 必要に応じ、在宅歯科医療連携室等と連携して、助言や支援を行う。
- 拠点薬局と連携しながら、地域の医薬品、医療・衛生材料の物流の改善やクリーンベンチの有効活用に努める。

* 地域の医療・福祉資源の量・質に関する最適化に向けての活動

地域全体の医療提供体制を把握し、不足する資源に対しては、代替資源の開拓等を行う。また多職種の連携にあたっては、提供される医療やケアの質が担保されるよう、標準化されたツールの導入等を検討する。

在宅医療連携ガイドの作成

○ 拠点が行う、事業所アンケート調査より『在宅医療連携ガイド』を作成。

→多職種連携をとる際の地域社会資源の選択、連携に活用できる

はじめに	5
医療機関(医療連携窓口)	6
医療機関	6
訪問診療・歯科	6
保険薬剤業者	6
地域包括支援センター	6
居宅介護支援事業所	6
訪問看護ステーション	6
訪問介護事業所	6
通所リハビリ	6
通所介護	6
短期入所(ショート)	6
介護老人福祉施設(特養)	91
介護老人保健施設(老健)	93
介護療養型医療施設(療養型)	97
経済老人ホーム	99
有料老人ホーム	99

担当している患者の用件で多職種がかかりつけ医にアポイントをとるための参考情報

医療機関名	院長名	理事長 安倍 哲					
窓口担当者 (Dr 代理対応の方)	外来看護師						
住所	〒261 TEL: 048-123-4567 FAX: 048-123-4568 メール: abc@abc.jp	丁寧					
	メール	★各自でアドレス交換をして下さい					
在宅医療の取り組み	主治医意見書の記載	<input checked="" type="radio"/> 対応している <input type="radio"/> していない					
	訪問診療	<input checked="" type="radio"/> 定期的に訪問している <input type="radio"/> していない					
	かかりつけ患者の臨時往診	<input checked="" type="radio"/> 対応している <input type="radio"/> していない					
	在宅療養支援診療窓口の発出	<input checked="" type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無					
医師との面談方法 優先順位	直接面談	往診回数	外来回数	電話連絡	FAX連絡	メール連絡	その他
	5	4	3	1	2	0	
担当者会議への医師の 参加	主治医の都合の時間で医療機関で開催の場合				<input type="radio"/> 20分以内なら可能 <input checked="" type="radio"/> 15分以内なら可能 <input type="radio"/> 困難		
	訪問診療に合わせて調整の場合				<input type="radio"/> 20分以内なら可能 <input checked="" type="radio"/> 15分以内なら可能 <input type="radio"/> 困難		
主治医が比較的面談等の対応が可能な時間帯	<input checked="" type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 火 <input type="radio"/> 水 <input type="radio"/> 木 <input type="radio"/> 金 <input checked="" type="radio"/> 土 <input type="radio"/> 日						
	15:00-18:00						
多職種の方々への要望 (連絡時の注意事項を含む)							
連携ガイドに記載 可							

アンケート調査の実施と調査結果のデータベース化

主任介護支援専門員へのアンケート調査

- 事業開始時(H23.7-8)にニーズ把握のため実施。調査結果をアクションプランの立案の基礎とした。

医師へのアンケート調査～連携シート作成

在宅療養者支援のための連携シート		2013年11月16日 15:04:28
連携実績登録	担当 医師	庄内地区医師会
施設名(漢字)	施設名(カタカナ)	
連携登録番号	連携登録番号	0000-7782
連絡電話	連絡電話	0234-43-3434 FAX
1. サービス提供機関におけるアセスメント		
(1) 施設内は、専門性が高く、専門性の高い	(2) 専門的知識、専門的技術で需要者を評価	
(3) 本院は専門性の高い専門性の高い	(4) 本院は専門性の高い専門性の高い	
2. サービス提供機関について		
(1) 施設の運営形態	(2) 施設の運営形態	
(3) 施設の運営形態	(4) 施設の運営形態	
3. 本院は専門性の高い専門性の高い		

- 鶴岡市長寿社会課が運営する基幹型地域包括支援センターと連携してアンケートを実施。
- 178名の医師からアンケートを回収。
- Accessデータベース化を行い、相談業務に活用。
- 冊子化を行い、120部をケアマネジャーを中心に医師会、山形県、保健所、鶴岡市等に配布。

医療依存度の高い方の施設受け入れ情報調査～データベース化と公開

医療依存度が高い利用者の受け入れ施設		データ登録	データ検索
			

- 「庄内地域医療連携の会」と連携して調査実施。
- 175施設からアンケートを回収。
- Accessデータベース化を行い、相談業務に活用。
- 冊子とAccessをケアマネジャー、連携室等に配布。

在宅医療に必要な情報のデータベース化を実現。

今後は「活用」「更新」「評価」のフェーズに移行する。

- ホームページ上での公開を行い、地域の医療介護従事者への利便性の高い情報を提供する。
- 鮮度のある情報を維持するためのデータ更新や、定期的な評価を行いPDCAのサイクルを回していく。

行政・地域包括支援センターとの信頼醸成

行政との定期的なミーティングの開催

H23.6	7	8	9	10	11	12	H24.1	2	計
		○	○	○	○	○	○	○	7回

- ・鶴岡市長寿介護課直轄の基幹型地域包括支援センターとの定期的な話し合いの場を作り、調査や会合等を企画・実施した。
- ・「連携シート」は、8月から調査を開始、2月末の完成、配布となった。**本年度、ほたるが地域に残した大きな成果物**となった。



地域ケアネットワーク会議への参加

H23.6	7	8	9	10	11	12	H24.1	2	計
	○		○	○	○	○	○	○	5回

- ・地域包括支援センター主催の地域ケアネットワーク会議や、地域ケア推進担当者会議に積極的に参加した。
- ・参加を重ねる中で医療的助言を行ってきた。



本取り組みを継続的に行っていくことにより、行政及び地域包括支援センターとの信頼関係の醸成を目指す。

- ・場の設置、参加を確実に継続していく。
- ・平成24年度は、行政や地域包括支援センターのニーズの把握を目指す。

地域で共通のツールを開発し、運用(医科歯科連携)

利用者氏名：

口腔内 アセスメント票（北遠地域）

(案)

嚥下障害チェック表

当てはまるものがあるか、印をつけましょう！

- 口から食べ物がこぼれる
- 硬い食べ物が噛みにくい
- 鼻から食べ物が出てくることがある
- 食後に食べ物が口の中に残っている
- 食べ物の味や温度が分かりにくい
- 飲み込みにくい
- 食事や水分でむせる(食事中、食後、夜間、いつも)
- 痰が増えた
- 声がかすれる(時間帯、食事中、食後、いつも)
- 食べ物が喉の奥で詰まる感じがする・または痛む
- 食事をすると疲れる
- 食欲がない
- 体重が減った



点数	
0点	ふつうのかた
2点	→ 出血の原因
0点	ふつうのかた
3点	出血が多いやや多い
0点	そのまま様子
5点	はやめに受診
0点	様子を見て、
1点	続けてお口の
0点	続けて舌を含む
1点	舌ブラシややわらか
0点	続けて舌や唇
1点	マッサージを
0点	そのまま様子
4点	はやめに受診
17点	※5点以上
	※必要があるのに
	続けて義歯を
	する 続けて義歯を
	しない はやめに受診
	そのまま様子
	嚥下障害チェック表をチェックしましょう
	そのまま様子をみましょう
	嚥下障害チェック表をチェックしましょう

※チェック項目にひとつでも当てはまつた方については早めに受診することをお勧めします。(内科・歯科)

在宅医療連携拠点事業
平成24年1月24日

口腔内での水分保持	1.できる	2.できない【口むせ 口飲
ぶくぶくうがい	1.できる	2.できない【口むせ 口飲
お薬の状況	1.飲んでいない 2.飲んでいる →	
その他特記事項		生活上で気になったことがあれば記載してください。)

M2-1

口腔ケアの手順

事前にブケブケうがいもしくは保湿剤を塗る!!
入れ歯の方は入れ歯を外しましょう!!

- ＜まず口腔内を観察＞
- ・両頬(ほっぺ)をひっぱって
 - ・上唇をひっぱって
 - ・下唇をひっぱって
 - 自分の目で汚れを確認しましょう！
引っ張ることにより口腔の緊張をとる



- ＜順序よく磨いていきましょう＞
- ①歯の裏側(奥から前へ)
 - ②歯と歯ぐきの境目
 - ③舌と上あご(M2-5)参照
(奥から前へ、汚れを湿らせてやさしく)



＜入れ歯の方＞ M4-2 参照

対する拒否

- 2.一部できる 3.
- 2.一部できる 3.
- 2ある → どのよ

- 2ある【口胃ろう】
- 2.できない
- 2.できない

- 1.できる
- 2.できない【口むせ 口飲
- 1.飲んでいない 2.飲んでいる →
- 生活上で気になったことがあれば記載してください。)

こうくう けあ
まにゅある
口腔ケア 手引き

点数化を検討。全17
点中5点以上は受診
を促す。

点数	
1.なし	0点
2.あり	2点
1.なし	0点
2.あり	3点
1.なし	0点
2.あり	5点
1.なし	0点
2.あり	1点
1.なし	0点
2.あり	1点
1.なし	0点
2.あり	1点
合計	/17点

※5点以上の方については歯科医院を受診しましょう。

利用者氏名： 様

所属：
記入者：
実施年月日： / /

【口腔内状況】

○口腔衛生状態

チェック項目	点数	対処方法	基準
歯の汚れ	1.なし	0点 ふつうのかたさの歯ブラシで磨きましょう	M1~2
	2.あり	2点 → 出血の項目へ	—
出血 (ブラッシング時)	1.なし	0点 ふつうのかたさの歯ブラシで磨きましょう	M1~2
	2.あり	3点 出血が多い方や痛みがある方はやわらかめのブラシで磨きましょう	M1~3
歯のぐらつき	1.なし	0点 そのまま様子をみましょう	—
	2.あり	5点 はやめに受診をしましょう	—
口臭	なし	0点 様子をみて、続けてお口の中をきれいにしましょう	M1~2
	2.あり	1点 続けてお口の中をきれいにしましょう	M1~2
舌の	なし	0点 続けて舌をきれいにしましょう	—
	2.あり	1点 舌ブラシややわらかめのブラシ使い、続けて舌をきれいにしましょう	M2~5
舌の	なし	0点 続けて舌や唇のケアをしましょう	—
	2.あり	1点 マッサージをしたり、保湿剤をつかって保湿しましょう	M5
舌の傷、腫れ	なし	0点 そのまま様子をみましょう	M7
	2.あり	4点 はやめに受診をしましょう	M7
合計		/17点	※5点以上の方については歯科医院を受診しましょう。

○義歯の状況

義歯	1.なし	※必要があるのに義歯がない人、また義歯に欠損がある人は受診をしましょう	—
	2.あり	続けて義歯をきれいにしましょう → 下の項目（AB）へ	M4
	A.合っている	続けて義歯をきれいにしましょう → 義歯の着脱の項目へ	—
	B.合っていない	はやめに受診をしましょう	M4

【口腔機能の評価】

○口腔ケアの自立・口腔ケアに対する拒否	
義歯の着脱	1.できる 2.一部できる 3.できない
日常の口腔ケア	1.できる 2.一部できる 3.できない
口腔ケアの拒否	1.ない 2.ある → どのようなものか()
合計	M8

○口腔ケアに対するリスク

経管栄養チューブ	1.ない 2.ある (口胃ろう 口経鼻 口その他())	—
座位保持	1.できる 2.できない	—
開口保持	1.できる 2.できない	—
口腔内での水分保持	1.できる 2.できない (口むせ 口飲んでしまう 口流出) → 嘔下障害チェック表へ	—
ぶくぶくうがい	1.できる 2.できない (口むせ 口飲んでしまう 口流出) → 嘔下障害チェック表へ	—
お薬の状況	1.飲んでいない 2.飲んでいる → お薬の名前()	—
その他特記事項	生活上で気になったことがあれば記載してください。たばこ、食べ物、飲み物等で気になる点など。)	